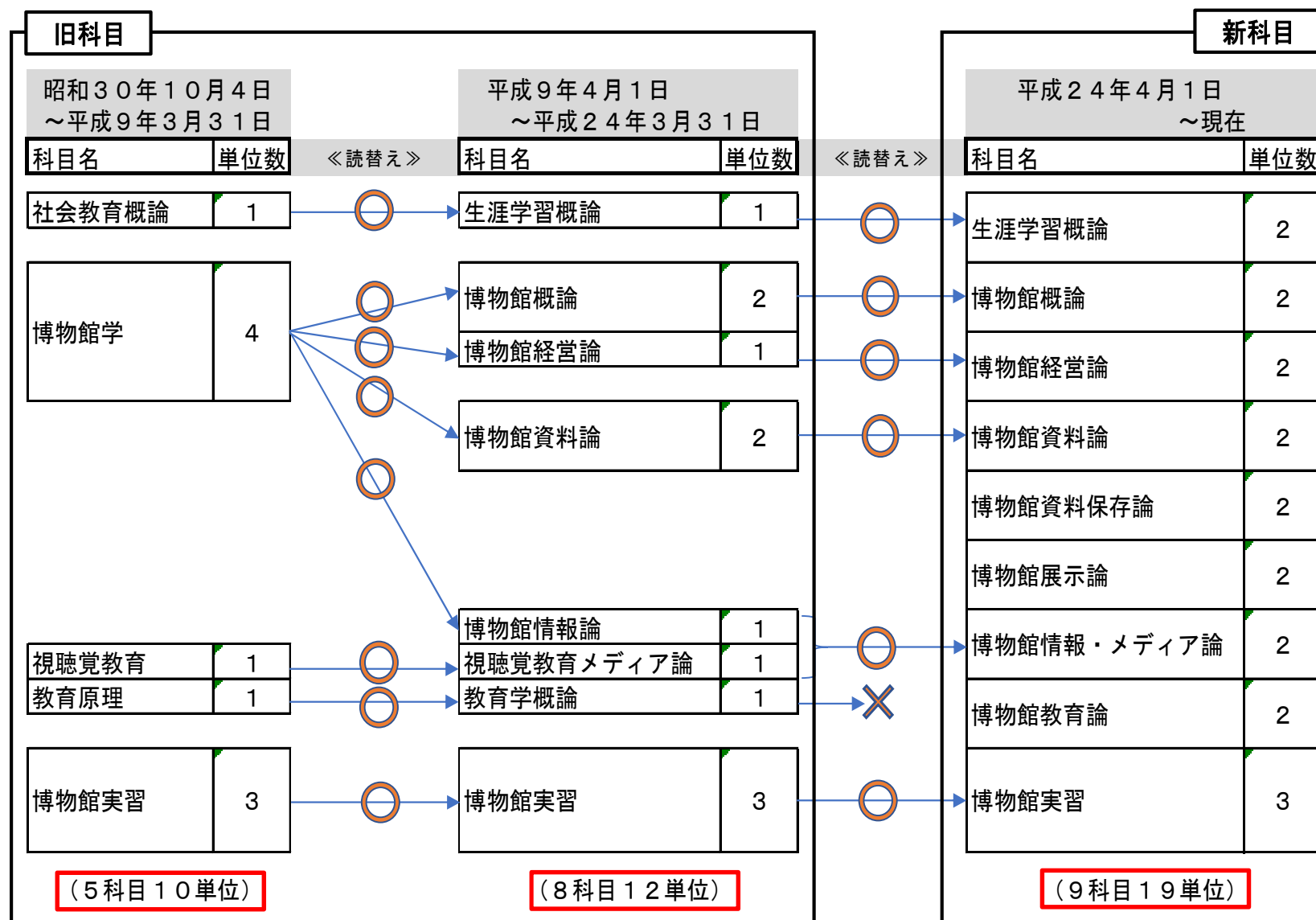


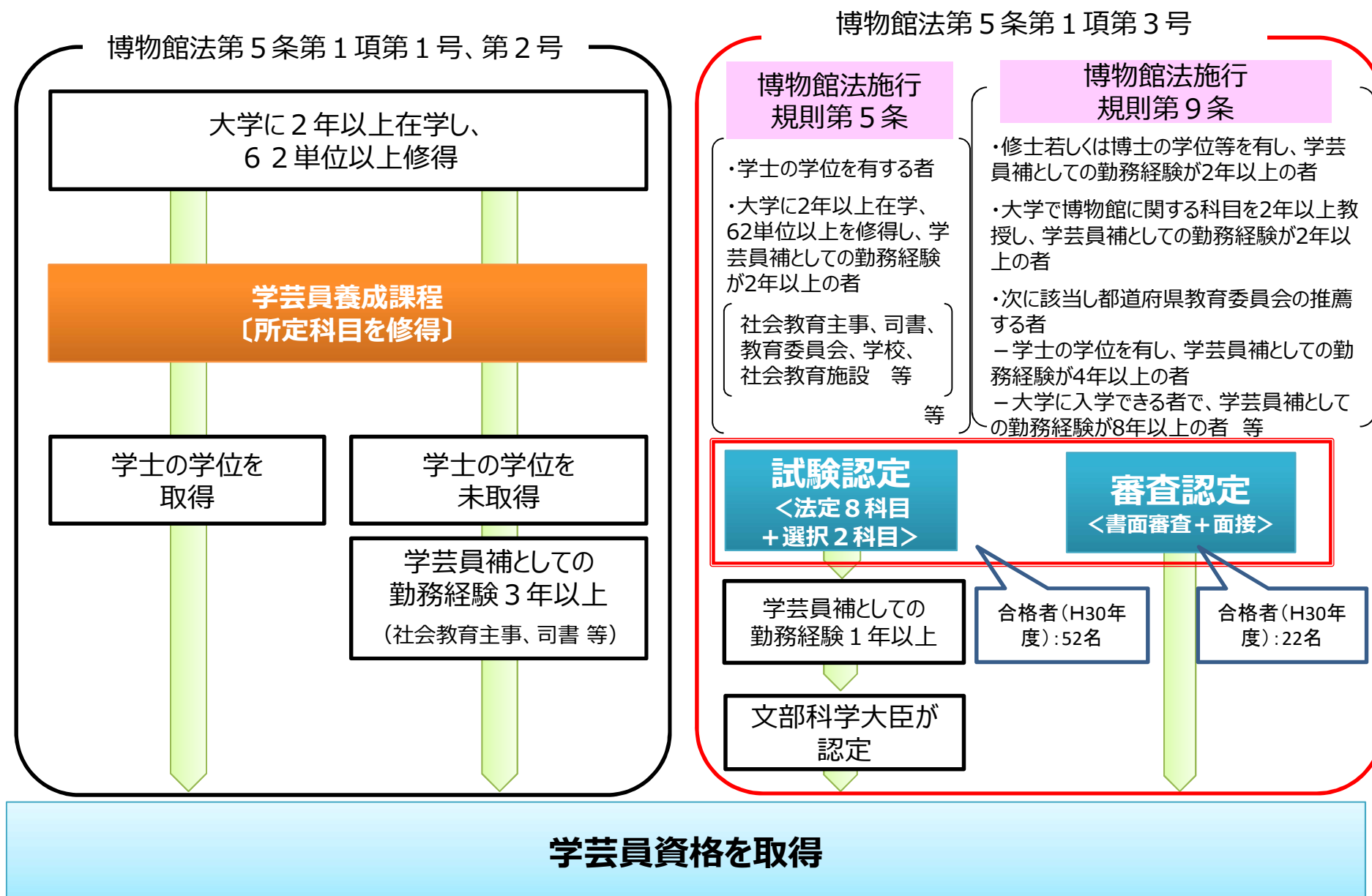
「学芸員資格取得に関する単位及び試験科目」新旧科目の比較

資料1



学芸員の養成

● 指導者の養成（資格付与）



学芸員養成大学数の推移

<各年度4月1日時点>

	平成24年	～	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
全体	298（※1）		305	302	302	304
新規	—		1	1	3	—
変更	—		38	35	42	—
廃止	—		4	1	1	—

（出典）文部科学省・文化庁調べ

※1 平成23年度中に新規の届出があった大学数

<留意事項>

- 新規、変更、廃止の数は当該年度に次年度からの体制について、届出があった数とする。
- 学生の募集は停止する場合でも在校生がいる場合は変更として算出している。

<参考 平成31年4月1日現在の大学内訳>

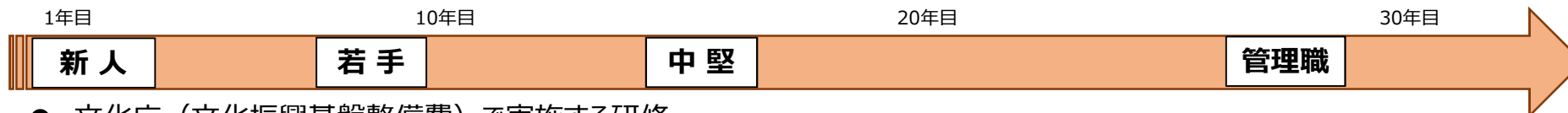
- 4年制大学 296校（国立57 公立20 私立219）
- 短期大学 8大学（部）（公立1 私立7）

博物館専門人材への研修事業

2020年度予算額 56百万円



文化庁では、博物館全体における学芸員等の資質向上のための研修を実施。
その他、独立行政法人等において、文化財の保存・修復等、専門性に応じた研修を実施。



● 文化庁（文化振興基盤整備費）で実施する研修

【博物館学芸員専門講座（3日間）】

学芸員として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い、都道府県・指定都市等での指導的立場になりうる学芸員としての力量を高める。

【学芸員等在外派遣研修（3か月～1年）】

学芸員等を諸外国の博物館等に派遣し、先進的な展示、教育普及活動等を通じて、国の博物館施策に反映させるとともに、地域の専門職員の研修・職務で有効活用する。

【ミュージアム・エデュケーション研修（5日間）】

現職学芸員等、教育普及を担当する職員に知識・技能を修得させるための研修を行い、博物館運営全体に教育的配慮をもって関わる事が出来る人材を育てる。

【博物館長研修（3日間）】

新任館長に、管理・運営や、博物館を取り巻く社会の動向などの研修を行う。

【ミュージアム・マネジメント研修（3日間）】

事務系・学芸系とわず、管理運営に関わる職員に、企画及び管理運営に必要な知識や博物館を取り巻く社会動向について研修を行う。

【全国博物館長会議】

日本博物館協会と文化庁の共催

令和2年度の博物館の機能強化に関する調査について

予算概要

- ◎ ICOM京都大会を契機とした博物館機能強化レガシーとして3本の事業を実施予定。
(①博物館の機能強化に関する調査、②海外ネットワーク構築事業、③PPP等による持続可能な博物館構築事業)
- ◎ ①博物館の機能強化に関する調査は、博物館部会の博物館の在り方検討に資することを目的として予算化され、本年度調査に続き実施するもの。(予算規模は10百万円)
- ◎ 博物館部会において調査事項について検討を行い、来年度に向けた準備を行う。

調査内容

平成31年度(2019) 調査

※博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業の「博物館の機能強化に関する調査」

①学芸員養成制度の運用実態の把握

- ・学芸員養成課程を開設する大学に対して、アンケート調査を実施し、運用実態を把握。

②学芸員に求められる資質・能力と現行の学芸員養成制度のギャップの把握

- ・有識者ヒアリングを通じて、社会経済情勢の変化による学芸員に求められる資質・能力と養成制度のギャップを把握し、論点を整理する。

③博物館の諸課題における有識者ヒアリング

- ・博物館登録制度、倫理、社会連携、観光連携、社会課題解決等、博物館に関する諸課題について有識者ヒアリングを実施し、論点を整理する。


博物館部会に報告(令和2年4月)

令和2年度(2020) 調査(予定)

(たたき台)

- ◎ 博物館支援事業の波及効果の検証(教育、福祉、まちづくり、観光、経済 等)
- ◎ 2019調査の諸課題の深掘り
 - ・博物館評価関係
 - ・学芸員の資質向上関係
 - ・博物館マネジメント、運営関係 等

学芸員養成制度に関する調査項目（文化庁「博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業」の一環）

No	分類	質問文
1	大学名	貴校の名称をお答えください
2	担当者名等	ご担当者の所属、氏名、ご所属、連絡先（メールアドレス、電話番号）をお答えください
3	養成課程の位置づけ	貴校で開講している学芸員養成課程の開設の趣旨について、大学の教育理念や設置する学部学科の理念との関係性からお答えください
4	学芸員養成課程の教育目標	貴校の学芸員養成課程における到達目標について、以下の選択肢の中から該当するものをお選びください
5	養成課程の開設時期	貴校で学芸員養成課程開設年度をご記入ください（西暦）
6	履修制限の有無	学芸員養成課程を履修希望者に対して、貴校では履修制限を設けていますか
7	履修制限の設定の理由	学芸員養成課程の履修希望者に対して履修制限を設定している理由をお答えください
8	博物館実習の制限	博物館実習の履修希望者に対して、貴校では履修制限を設けていますか
9	博物館実習の制限設定の理由	博物館実習の履修希望者に対して、履修制限を設定している理由についてお答えください
10	博物館実習の内容について	貴校の博物館実習の内容について、以下の選択肢から
11	見学実習のみの理由	館務実習を行っていない理由をお答えください
12	観光・まちづくりとの連携	博物館と観光やまちづくり、福祉等との連携について、貴校では講義で取り上げるなど、何か取組を実施していますか
13	費用徴収の有無（実習費）	博物館実習において、学生から実習費等を徴収していますか
14	費用徴収の有無（登録費）	学芸員登録をする学生について、学生から登録費を徴収していますか
15	学芸員取得者数の推移（10年間）	直近10年間の学芸員資格取得者数について、以下の表にご記載ください
16	履修者の就職状況	貴校における、最近3カ年（平成28・29・30年度）の学芸員資格取得者数と、資格取得者の中で博物館等関連施設に就職した人数を表内にご記入ください
17	専門と担当科目との乖離	一人で複数の必修科目を担当している教員がいますか。いる場合、その理由をお答えください
18	学生の所属	博物館実習を履修する学生の所属学部系統のおおよその比率を教えてください
19	教員数	学芸員養成講座に関わる教員の人数を教えてください
20	単位数増加の影響	平成21（2009）年から、法定単位数が12単位から19単位に引き上げられましたが、教育的な効果をお答えください
21	学芸員養成課程についての要望	19単位への単位数増加の影響や、今後の単位数の増減、新たな分野の科目の追加等、学芸員養成課程のカリキュラムを改善に関する意見をお答えください